

観光振興対策特別委員会記録

開催日時 平成26年9月10日(水) 13:03~14:40

開催場所 第1委員会室

出席委員 8名

岩田 国夫 委員長

辻本 黎士 副委員長

小林 照代 委員

大坪 宏通 委員

畠 真夕美 委員

森川 喜之 委員

粒谷 友示 委員

梶川 虔二 委員

欠席委員 なし

出席理事者 福井 観光局長

林 まちづくり推進局長 ほか、関係職員

傍聴者 なし

議 事

(1) 9月定例県議会提出予定議案について

(2) その他

<質疑応答>

○岩田委員長 ただいまの説明、報告、またはその他の事項も含めて、質疑があればご発言をお願いします。

○粒谷委員 1点だけお聞かせ願いたいと思います。「9月定例県議会提出予定議案の概要」の3ページ、外国人観光客誘致戦略新市場開拓キャンペーンですけれども、海外観光レップ設置事業は具体的にどういう行動を起こされるのか、ここに中国、台湾、東南アジア、フランスとあるのですけれども、ヨーロッパにはたくさんの国があるのですけれども、あえてフランスに限定されているのは何か理由はあるのですか。

○吉田観光プロモーション課長 委員からご質問がありました、海外観光レップ設置事業についてお答えします。

国内での外国人の観光客の誘致につきましては、これまで以上に非常に活発化しており

ます。今までは国のビジット・ジャパンという事業を活用してプロモーションを実施してきておりましたけれども、他の地域との差別化も非常に難しくなっているのが状況でございます。また、国のビジット・ジャパンの事業を活用して、直接海外の旅行会社へのセールスがあったりとか、商談会に参加するというのも当然年に数回という形で限られておりますので、継続的に営業活動をするために、海外に代理店といいますか、代理機能を置きまして、そこの者が奈良県にかわって継続的にその地域での旅行会社等への営業を行ってもらうという事業でございます。

その拠点を中国と台湾と東南アジア、それからフランスの4カ所に当面は拠点を整備しようと考えているのですけれども、そのうちのフランスに関してのご質問でございます。

昨年、日本には、1,000万人を超える外国人の観光客が来られました。そのうち奈良県には45万人の方が来ていただいていると統計上出ております。ヨーロッパの中でも、日本に来られているフランス人のうち10人弱に1人は奈良県に来ていただいている状況でございます。他のヨーロッパの地域よりも非常にフランスは奈良県に対して関心が高いと考えておまして、今後もフランスの市場はもっと開拓できるだろうという判断から、今回フランスにもレップ機能を設置しようというものでございます。以上でございます。

○粒谷委員 新聞の受け売りで大変申しわけないのですけれども、たまたまきょう見たときに、今おっしゃったように、フランスをターゲットにされていると。間違っていないと思うのです。新聞を見ますと、和歌山県の場合2013年は、年間に5万3,000人ぐらいの観光客が来られた。前年度に比べたら1.5倍の観光客が来られた。その中の約3分の1がフランス人だということで、南海電車も社内放送をフランス語でされているということも新聞に出ているのですけれども、今おっしゃったことはまさしくそういうことだと思うのです。その中で、なぜフランス人が和歌山県に来るのか。高野山に来て宿坊にお泊まりの外国人の約8割、9割がフランス人だそうです。何をするかといったら、体験なのです。寺での修行、座禅を組むなどいろいろなものを経験されるためにフランスからたくさん来られる。

そのきっかけは何かというと、この新聞に書いてるのですけれども、ル・モンド誌がきっかけになったと、ミシュランの旅行ガイドで紹介されたことがきっかけだそうです。こういう方法があるのだなど。拠点をお持ちになることも大事ですけれども、こういう方法も大いに利活用させていただくことによって、フランスだけではなく、ヨーロッパ、あるいは東欧諸国も非常に関心があると思うのです。その中で、関西のゴールデンコースとい

えば、大阪、京都、奈良、神戸だと思えるのですけれども、この中で、非常におもしろいことを書いているのが、別にそれでなくても外国人は来るといふのがあつたのです。それは、亀岡市のへき亭です。地元のコマツナを使った巻きずしをつくる体験をおやりになったら、アメリカからたくさんの方が来られるといふことです。外国人が日本にお越しになるといふことは、自国で体験できない文化、芸術、そして、景観を求めて来られると思ふのです。そういう意味では、特に奈良県の場合、知事が奈良モデルといふことで、奈良市だけではなく、南部のほうにも観光客に来てほしいといふことですのでけれども、奈良モデルで観光のタイアップ、市町村とタイアップで当然事業としてお考へになったと思ふのですけれども、例えば市町村でそれぞれ地元のオリジナルで観光客を誘致するようなプレゼンテーションをする話があるのかどうか、その点をお聞かせ願ひたいと思ひます。

○吉田観光プロモーション課長 外国人観光客の国によつても当然いろいろと違ふのですけれども、日本に來られて、単に施設等を見学するだけではなく、一歩入り込んで体験といふのが非常に重要なことで、8月に、旧猿沢荘におきまして、外国人を対象とした夏祭りのイベントを実施させていただきました。その中で、浴衣やお茶の体験をしていただくしつらえもつくつたのですけれども、そこは非常に好評でございまして、委員のご指摘のように、改めて外国人の方には単に見るだけではなく、一歩進んで体験のメニューをつつていくことが必要と思つております。

ル・モンド社の旅行ガイドの話も出ましたけれども、同じように世界の旅行誌で、「ロンリープラネット」といふ雑誌がございまして、日本でいふところの地球の歩き方、いわゆる旅行ガイドブックでございましてけれども、その記者が先月奈良に來ていました。その記者を吉野山にも案内したり、明日香村に行つたりといふ形でできるだけ奈良公園、東大寺だけではなく、南部にも案内いたしまして、世界各地に紹介していただけるように取り組んでおるところでございまして。

あわせて、市町村との連携でございましてけれども、特に明日香村につきましては、外国からの訪日の教育旅行、いわゆる修学旅行のようなものを非常に熱心に受け入れていただいております。そういったところともしっかり連携を図りながら、全県挙げて外国人観光客の方に来ていただけるような整備が必要と思つております。以上でございまして。

○粒谷委員 非常にご努力されていることがよくわかりました。

その中で1点、また違ふ角度からですけれども、春日大社の式年造替に関してこれから取り組みをされると思ふのですけれども、先般、薬師寺で東塔の真柱を動かされました。こ

れも1300年の歴史の中で非常に貴重なのですけれども、県も国に予算要望されるに当たって、めったにないチャンスですが、ツーリズムの中で取り組みはあったのですか。

○吉田観光プロモーション課長 残念ながら、今回の薬師寺の関係について、具体的に海外に発信ということはできておりませんでした。ただ、春日大社の式年造替の関係につきましては、国内はもとより、今後海外に商品としてセールスをしていこうと現在は準備を進めているところでございます。以上でございます。

○粒谷委員 薬師寺が東塔の真柱を動かされるということは、本当に将来あり得ないことでありますし、それぞれの市町村や寺社仏閣の中で、外国人を含めた、これは国内も含めてですけれども、こういう大きなものがあるときには、県が何もしないという話ではないと思うのです。国に予算要求をされるときは、大きな事業をなさるといことは当然県はご存じだと思ふのです。そうすれば、厚かましいけれども、ジョイントして、観光の一環ということでおやりになれば、興味のある方は大変多いと思うのです。そういう意味で、今後は市町村との連携プレーも必要ですけれども、奈良県の寺社仏閣を含めた関係の皆さん方とも、いかに観光で誘客するかはこれからのご努力として大きな関心を持ってやっていただきたいと要望して終わっておきます。

○小林委員 1点お尋ねします。補正予算で、奈良公園施設魅力向上事業で、高畑町裁判所跡地に宿泊施設等を整備するために、文化財発掘調査及び基本計画の策定に係る予算が出されておりますが、宿泊施設等と書いてありまして、宿泊施設をつくるということでしょうか。また、基本計画の策定とはどんな施設で、その規模や内容をどのようにお考えになってるのかお答えをいただきたいと思ふます。

それから、奈良公園周辺にお住まいで、子どものころから奈良公園を我が家の庭として親しんでこられました周辺にお住まいの皆さんがつくっておられる飛鳥の会ですけれども、2年前に若草山のモノレール設置はやめてほしいと同時に、高畑町裁判所跡地の上質の宿泊施設建設については、奈良公園の風致を著しく損ねる計画であり、見合わせていただきたいと要望されて、あわせて、地域の景観保全の立場から、ふさわしい緑地公園化を、と提案されておりました。この要望につきまして、2012年の12月議会事前委員会で取り上げてきました。そのときに、いろいろとお述べいただきましたけれども、奈良公園地区整備検討委員会等を踏まえていろいろな方に意見を聞きながら基本計画をつくるべく策定にかかりたいということと、現在のところは具体的な決定事項はないということでした。それで、皆さんから出されてきます提案や要望は、検討されるのでしょうか。その検討の

対象になっていたのでしょうか、お尋ねしたいと思います。

○中西知事公室審議官（奈良公園・観光振興プロジェクト担当） 今回の高畑裁判所跡地の補正予算の内容でございますけれども、文化財の発掘調査と基本計画をつくっていくことになっております。もともと現年度予算の中で庭園調査という予算もいただいております。この場所は、旧興福寺の境内地でもございまして、非常に由緒ある庭園があったというお話もありまして、文化庁からの指導もあり、今後どういう使い方をするにせよ、一度その庭園を調査する必要があるという部分でことしさせていただく予定でございます。それにあわせて、今回、もともと平成24年に出させていただいております奈良公園基本戦略の中で、この場所は景観等に配慮しつつ上質な宿泊等の施設を建てていきたいということで、書かせていただいているところでございます。今回は、文化財の発掘調査と、桜井市に農業大学の案が出てきておりまして、そこでは優秀な奈良の素材、農産物を使ったおいしい料理ができるシェフを育成されると聞いておりますので、そういうところと連携しながらそういうものがつくれないかと奈良公園基本戦略に沿った形で基本計画をつくっていきたい。当然、それにつきましては、奈良公園地区整備検討委員会の中でもしっかり検討させていただくつもりをしております。

2年前に地域の住民の方から、高畑町裁判所跡地に関して緑地化してほしいという要望があったことは事実でございます。ただし、その際も話をさせていただいたと思いますが、奈良公園の考え方としては、ここは宿泊施設をつくるという部分をまず念頭に置いています。単純に緑地化して、そこに鹿が入り、草が生えてという方向では考えていないと申し添えさせていただいたつもりでございます。その後、景観保全の部分についてはおっしゃることも重々理解しております。ただ、現状は土塀が非常に朽ちてきておりまして、2年前には竹が倒れて歩行者にけがをさせてしまうという場所でもございますので、安全対策も早急にやる必要もございます。その辺はあわせてまた皆さん方に喜んでいただける形で検討してまいりたいと考えております。以上でございます。

○小林委員 宿泊施設等を中心にいろいろと基本計画の策定を考えていきたいということで、緑地化についてはいろいろと難しいというお答えだったと思います。こういう状況の中で、その後も飛鳥の会の皆さんは、代替案、先ほど壁のことを言われましたけれども、この奈良高畑飛鳥地域を、徒歩や自転車で散策するもう一つの奈良観光の拠点としてすっきりした案内所の設置を要望し、周辺の植栽を行って安全な奈良公園一帯を眺望できるという、修学旅行生にも親しまれ、生涯心に残るようという提案もされております。今の

お答えですと、結局、この作業を進めていくには、宿泊施設をまず優先されるということかと思えますけれども、その点も含めまして、皆さんから要望が出ているところ、緑地化についてはそういうお答えをいただいているのですけれども、申し上げましたそういうことも含めて、検討の対象に、ぜひ加えていただきたいと思います。

奈良公園基本戦略が出たのが平成24年2月ですが、奈良公園の価値に基づいてどういう基本方針に向けて施策と事業を進めていくのかという事業化の方向について出されているのですけれども、その方向の中で出されていて、具体化されることで、いろいろ広く意見を聞いていただきまして、意見がこのように出てくるという状況だと思うのです。ですので、出てくるこうした要望とか提案に対して、奈良公園地区整備検討委員会の中でも議論をしていただきたいし、緑地化のことでは一定の見解を言われたのですけれども、意見が出されてくることに対してその中でも議論をしていただいて、検討をしていくという状況にしていきたいと思っているのですけれど、その点についてはいかがでしょうか。

○中西知事公室審議官（奈良公園・観光振興プロジェクト担当） 委員のご指摘の部分についてですが、奈良公園地区整備検討委員会には、有識者をはじめいろんなジャンルの方が入っておられますので、多くの意見を聞きながらということは、今おっしゃっておりだと思います。ただ、仮に高畑町裁判所跡地にしましても、緑地化を望む方々もおられることは十分認識しておりますし、逆に地域の活性化のために奈良の観光はまだまだおくと、箱物が全く足りていないということをおっしゃる方々もたくさんおられます。また、あのまま朽ちていくのもどうかという意見、それぞれございますので、奈良公園地区整備検討委員会の中でまたしっかりと議論を交わしながら、奈良公園の価値を高めるものに確実にっていくように頑張っていきたいと考えております。以上でございます。

○小林委員 要望というか、意見にさせていただきますけれども、奈良公園地区整備検討委員会の中で、県民の方から出てくる意見、特に申し入れという形で意見を出されるということは、かなり強い要望というか、強いご意見があると思います。そういう意見も含めて、宿泊施設という形を中心に進められると思うのですけれども、今お答えいただきましたように、緑地化という意見もまだまだ随分多いと思いますし、先ほど申し上げました具体的な意見も含めて、ぜひ進めて検討していただきたいということをお願いしたいと思います。

若草山モノレールの設置問題で、7月31日に行われました奈良公園地区整備検討委員会で増井委員長が、今回の議論は、若草山や奈良公園の価値を見直すきっかけとなったと

締めくくられたのですが、この奈良公園基本戦略の一番中心に言われているのは奈良公園の価値をどう見るか。奈良公園の価値ということが大きく出てまして、価値をどう見るかについては、いろいろ事業を具体化するときそれが問われてくると思います。そういうことがありますので、この価値に基づいて基本方針のこの施策事業についても、点検や見直しも求められているのではないかとも思いますので、皆さんから出てくる要望や意見をあわせてぜひ議論や検討をしていただきたいということを申し上げまして、終わります。

○大坪委員 質問させていただきたいと思います。

聞いた話ですけれども、奈良公園の東大寺、若草山、二月堂等の周辺にイノシシがかなり出る。鼓阪小学校の東側、正倉院の塀のあたり、奈良公園事務所、この近辺でもかなり最近イノシシがふえていると、きのう、きょうと連続して全く別の方からですが、お聞きしております。その辺のことをどのように把握されているのか、知っておられたらお聞かせ願いたいと思います。

○中西知事公室審議官（奈良公園・観光振興プロジェクト担当） 専門ではございませんが、管理している立場としましては、イノシシが奈良公園周辺に非常にふえている事実は認識しております。当然、周辺に奈良公園の鹿が出回ってご迷惑をおかけしてるということで農家の方々と接触する機会も多いのですが、鹿も大変だけれど、イノシシが非常に多いという話をされているのも事実です。例えば去年は、花火を使ってみたり、いろいろな薬を使ったりしてイノシシを奈良公園の中に来ないように努力もしたのですがけれども、農家の方でもなかなか結論が出ない難しいことですので、結果が出ていないのも事実でございます。今の段階で言いますと、できるだけ鹿同様に、しっかりしたフェンスをつくっていただく、もしくは今そういうフェンス設置計画を鹿の害の対策としてやっておりますので、そういうところとあわせて相談しながら何らかの協力はしたいと思っておりますし、関係部局として農林部等もありますので、そこにも今のお話も十分伝えた上で連携しながらやってまいりたいと思います。

○大坪委員 どうもありがとうございます。

ことは、特に神戸市では住宅街や川のところにイノシシが出て、実際にけがをされた方もかなりおられますので、観光客がイノシシに出くわしたりして、万が一そういうことがあったら大変なことになります。所管の関係もありますので、農林部にもお伝えいただいて、何らかの安全の対策をとっていただければありがたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

もう1点、大仏前の交差点から東に向けて春日大社方面、そして、県営高畑駐車場のほうに向いて、2方向に道路のカラー舗装がされていますけれども、このメリットというか特徴とか、そういったことについて教えていただければと思うのですが。

○堀内道路環境課長 今おっしゃられた当該区間につきましては、鹿の事故が多いということで、鹿ゾーンエリアを設定して、対策をいろいろ実施している中で、カラー舗装だけではなく、路面表示や、カラー舗装の部分は普通の舗装ではない、この区域に入ったら違う区域に入ったと、運転者にお伝えする意味も含めて、特殊なカラー舗装をしているという状況でございます。

○大坪委員 そういう形で考えておられると理解もできるのですが、実際これを見てみますと、きょうも見てきたのですが、県営高畑駐車場から浮見堂の東側、坂を上って飛火野のほうへ行くところがかなり傷んで、路面がめくれてしまっています。大仏殿前から春日大社に行くほうは割にきれいな状態ですが、どうもこの大仏殿前から南へ行くところがかなり傷んでいるのですが、この状況については把握されていますでしょうか。

○堀内道路環境課長 それについては報告を受けておりまして、対策も検討しているところでございます。ただ、めくれるという事例がほとんどない状況もございまして、そういう形で材料等も選んだのですけれども、実際にめくれるという事象が出てきておりますので、今後もう少し様子を見させていただいて、効果等も考慮しながら、どのような改善対策ができるかを検討しながら、次の段階でまた改善をしていきたいと考えております。

○大坪委員 これはある人の意見というか、推測かもしれないですけども、あの場所は坂になっていまして、冬場に積雪があったときに、バスのチェーンの摩擦によって破損というめくれるようなことが起こるのではないかと。バス自体が大型ですし、そこが坂になっているのでかなりめくれているのではないかとということもおっしゃっていました。それと、普通の舗装に、多分上から薄く貼っている形の工法というか、施工になっていると思いますので、仮にそれがしょっちゅうめくれることになれば、維持にしてもかなりしょっちゅう費用がかかってくると思います。根本的にしっかりと密着させて定着させるような工法であればもう少し持ちがいいのかと、これは素人考えなのかもしれませんが、この舗装自体は鹿の安全であるといったことも含めてということであろうかと思うのですけれども、この方法でいろいろ研究してやっていくのか、それとも全くまた別の方法を考えるのか。

これは費用の問題とか、今の状態を放置すると、路面自体が砂状になってきて、バイク

などが来るとスリップするし、また自動車同士の事故も十分に起こり得る話ですから、とにかく今の状況をまず何とか対応だけ先にさせていただいて、今後のことは今後のこととしてあらゆる工法も含めてぜひとも検討をしていただけたらと思います。まず、今の対応だけ、例えば砂利が出たらとりあえずは掃いて片づけてという形で、路面の状況だけは即、今すぐにでもめくれた状態であっても対応していただけたらと思います。今後の改良をよろしく願いいたします。以上で終わらせていただきます。

○除委員 3点ほど質問をしたいと思います。

さまざまに奈良県の魅力づくりを進めていただいております。少し違う観点かもしれませんが、一つは、奈良のお土産、あるようでないという皆さんの声でございます。JR奈良駅前にいろいろ奈良の土産物屋がありますので、10時過ぎの電車に乗ろうと思って9時半ごろに行って、土産物を買おうと思ったのですが、10時まで閉まっておりました。前の売店に奈良のお土産と書いてあったので行きましたら、1種類のみあっただけでした。8時を過ぎれば次のところに移動されますし、奈良のお土産を持って帰られる方も、あるいは、そこからどこかへ行かれる方もいらっしゃるのですが、10時にしか店があかないというのは、観光地として商売をする気があるのかと、本当に腹立たしく思ったのです。

それに関連して、商工会館、いつも前を通るのですけれど、中に入りますと奈良県内の土産物がいっぱい並んでいて、ここへ来ればいろんなお土産があると思いつつ、何回かは行ってありますが、なかなかストレートにそこへという気持ちになれないところがあるのです。というのは、目にとまりにくいですし、入っていらっしゃる人の流れもあまり見たことがないのです。民間の土産物屋との競合もあって、そこだけをアップすることはできないのかとも思ったりしているのですけれど、観光バスが着いて、そこから観光客が入られている様子もないですし、本当に売る気があるのかどうかと残念に思っているのです。こういったことに関して、県として何か対策を持っていらっしゃるのでしょうか、お伺いしたいと思います。

2点目は、トイレというか、アメニティー、快適空間というのでしょうか。近鉄奈良駅で電車をおり、改札を出ますと1カ所ございますが、女性用トイレの場合観光シーズンは外まで並んでいらっしゃるようです。エレベーターに乗って上のお店のトイレに行こうかと思うけれど、なかなかエレベーターがおりてこないし、伊丹空港行きバス停の前に奈良市のトイレがありますが、そこまで行くのも遠いです。改札を入りますと、一番東の端に近鉄のトイレがありますが、あれは誰も利用された形跡がないぐらいで犯罪が起きていてもわ

からないほどのトイレです。観光客はもちろんのこと、地元の人にとっても、町を歩いていてトイレに行きたいと思ったときに、なかなかないのです。奈良公園まで行くと、景観にふさわしいトイレがあちこちにありますが、奈良町にもトイレがないということで奈良市も困っているようです。テレビで、ノルウェーだと思うのですが、すてきなハウスがあって、それがトイレだったということで、そういうトイレ改革が大きく出てもいいかと思うのです。針テラスも宇陀市南部への車の道の駅になっていますが、あそこも依然としたトイレです。同じような形式のトイレ。徳島県だったか、高知県へ行ったときもありましたけれども、まだきれいでした。ですから、こういったトイレという視点で何か県の対策はあるのでしょうか。

3つ目には、観光によって地域活性化をするということは観光振興としての取り組みなのですが、宿泊者数というのは、奈良県に来ていただいて泊まる方の人数と、県内、地元の方が泊まる人数を合わせたものだということをお聞きしたことがあります。そこから考えますと、地元の宿泊者数が半分近く、40数%になっているところが北海道や東北だそうです。一番低いのが四国で18%ということですが、奈良県に住んでいて、奈良県内のホテル、旅館に泊まるという意識がないのですけれど、東北や北海道は、地域が広いという加減もあるのでしょうか、いろいろな仕事で行かれることもあるのでしょうか、わからないのですが。奈良県の場合、地元の宿泊者数は何割ぐらいで、全国のどれぐらいの順番になるのでしょうか。いろいろ調べたのですが、わからないので、教えていただきたいと思います。

○吉田観光プロモーション課長 委員からご指摘のありました土産物、あるいはトイレ等々につきまして、お答えさせていただきます。

ご指摘のとおり、夜になると早く閉まってしまうのは前から言われておることです。観光客をしっかりと奈良に呼び込むためには、夜のにぎわいといいたいでしょうか、夜もいろいろと散策して楽しめるようなまちづくりも非常に大切と思っております。加えて、奈良の土産物といいたいでしょうか、買っていただけるものをしっかりとつくること、あるいは、そういったことをしっかりとセールスすることも大切と思っております。こういったことにつきましては、産業・雇用振興部、あるいは農林部等々とも連携もしながら、首都圏等でもしっかりとプロモーションをして、奈良県のことをしっかりと認知していただくことが大切だと思っております。また、奈良県でも夜あいている店もありますので、しっかりとPRできるような、例えばマップづくりをして観光客にそれを知ってもらうことも

大切だと考えております。まだまだ十分な取り組みでないのは自覚しておりますので、今後もしっかりとやっていきたいと考えております。

それから、トイレの関係についてでございます。トイレの整備ということで、責任を持って対応できるというわけではないのですけれども、それぞれの設置主体がでございます。それぞれの設置主体に、観光という観点からもしっかりと清潔なトイレになるように働きかけることも必要と考えております。以上でございます。

○山口観光産業課長 宿泊者のお尋ねでございます。県内宿泊者数、県外宿泊者数と明確に区分した統計は残念ながら持ち合わせがございません。ただ、宿泊施設のヒアリングに回りましたときに、意外に南部は奈良市内から泊まりに行かれる、特に南部のキャンプ地は今かなりきれいに整っておりますので、そのあたりは奈良市内、夏に県北部からかなり泊まりに行かれるという動きを把握しております。

それと、川上村のそういう宿泊施設が県北部の町内会のお泊まりで常連さんがいらっしゃるなど、いいお話があります。そのあたりを宿泊施設も十分に把握しておられまして、営業をかけられたり、何十周年には1万円ぼっきりのサービスプランなど、非常にうまくPRをされているようでございます。今後も宿泊施設にとりましては、県外の方、県内の方、それからインバウンドの方、関係なくそれぞれの宿泊に合わせたセールスをしていただけるように、把握に努めてまいりたいと思います。以上でございます。

○除委員 具体的に、JR奈良駅前の店舗の管理者はどこでしょうか。具体的に何か働きかけか、お願いをしてもらえないでしょうか。10時でいいですか。10時でいいのだったら、たまたま気がついたのですが、そんなことはたくさんあると思います。そういう皆さんの声を受けとめていただいて、改革できるところ、変えられるところから働きかけていただくことも一番大事なことはないかと思います。商工会館は人が来られて買っただいて、売り上げも上がっているのですか。決算報告のときに出ているかと思うのですが、あまり覚えていないのですけれど、どうでしょう。入り口が何となくわかりにくい。のぼりばかりたくさん掛けてあるのですけれど、何か入りにくい。奈良へ来たと感じるような何か、店頭で金魚すくいなどをして、子どもたちがそこで金魚すくいをしたら、自然に中へ入れるのではないかと思ったりしているのですが、何か奈良らしいことを玄関だけでもできないのかといつも思っているのです。大和郡山市へ行かないと金魚すくいはできないのでしょうか。表のスペースを見たら金魚すくいを置けそうなスペースでした。別にいいのだったらいいのですけれど、受けとめ方もあまり真剣ではないように思うのです。

が、その点についてお伺いしておきたいと思います。

トイレについては、それぞれ設置主体が違うということだけに誰も責任を持たないので、県内のトイレをきれいにしていって、よくしていって、観光客のために快適にしていってという取り組みがなければ、このままでいいのかと思うのです。ドライブインのトイレもすごくきれいだと聞いています。行ってはいないのですけれど。県庁にもセブンイレブンができて、その奥のトイレはすごくきれいです。ホテルのようなトイレです。そういうトイレをつくれるのではないですか。つくっていただけませんか。どんなにうれしいか。男性に聞きましたら、男性はそんなにスペースは要らないそうですから、男性の分を半分削ってでも女性の分に拡大してもらおう。近鉄は3年前までトイレットペーパーが入っていませんでした。こんなところで言うのはあれですけど。近鉄に行ってどれだけお願いしましたか、入ったのはやっとな年前です。JRの駅は全部入っています、どこの駅へ行っても、田舎の駅へ行っても。観光地でトイレットペーパーもないような駅のトイレは大変残念で、そういう声がいっぱい出てきましたので、恥ずかしいとかそういう感覚ではなくて、観光客のために、みんなのためにお願いしたことがあるのです。針テラスのトイレも何とかしていただけたらありがたいです。

県内宿泊者については、奈良市の方は十津川村とか南部に行かれたときには、一泊しておられるということですし、南部の方も北部に来ていただいてゆっくりと奈良公園などいろいろ楽しんでいただくという県内交流。いろいろ今まで行かせていただいて、奈良県もこんないいところがあるということを行って体験しましたので、もっと行ってみようという気になったのですが、こんなすばらしいところに住んでおりながら奈良県の人あまり移動していないと思うのです。県内を活性化するために、観光ツールにして、どんどん動いていただく。おいしいところに食べに行ってください、日帰りで温泉に行ってください、そういうことをしていれば自然に活性化して、行ってよかったという声は必ずフェイスブックなどいろいろなツールを通じて、また人を呼べると思うのです。

県内にいる人が奈良県のよさを知ることがまず大事ではないかと思いますので、県内、地元の人をもっと県内を観光できるような、県内の人宿泊したら割引があるなど、地域振興券を買っていただければ泊まればいいのですけれども、今は情報時代ですので、いろいろ情報を流していただければ、お得だということで行くかと思います。じゃらんを見ましても、大人が楽しめるスポットで奈良県が4位ぐらいに入っておりますし、観光情報もわかりやすいと3位にも入っております。皆さんに一生懸命取り組んでいただいているという

成果は少しずつ出ておりますので、さらにそういった視点にも取り組んでいただきたいと思います
お願いしたいと思います。

○福井観光局長 奈良県の観光客へのおもてなしが不足しているという本当に厳しい、的
を得たご指摘をいただきました。確かに具体的話として、JR奈良駅前の施設におけるい
ろいろな売店や土産物屋の開店時間が10時になっているとか、周辺全体的な主体コント
ロールをJR西日本が持っているのか、もう少し県も実態を確認させてもらった上で、お
もてなしの観点からぜひ、早朝という話ではないと思いますけれども、しかるべき常識の
時間帯に開店するような働きかけをどういった形で進められるか念頭に入れて、観光局と
して考えていきたいと思っております。また、これは産業・雇用振興部との連携もありま
すので、円滑に、そしてスムーズに達成できる取り組みをしていきたいと思っております。

トイレにつきましても、確かに設置主体によりまして、いろいろな日々の管理をされて
るところがございます。県がやっている部分、県でもまた南部東部振興課がやっている部
分、また奈良公園室がやっている部分、そして、市町村がやっている部分がございます。
ただ、総じて通じるのはおもてなし、観光客がトイレを使うときに本当にきれいだと感じ
るのが本当に奈良の観光の力を上げていく、おもてなし力を上げていく基本になってくる
と思います。したがって、市町村を集めた会議もございますし、いろいろな会議がご
ざいますので、観光おもてなし力の向上という観点から、また、そういったところを通じ
て皆さん方に伝えていきたいと思っておりますし、その点につきましては今後、本当に奈
良のおもてなし力を上げていくという観点に立って進めていきたいと思っております。

きてみてならSHOPの売り上げと申しますか、店頭にいろいろな工夫をして観光客が
入っていただけるようなキャッチはやっていると思うのですが、その経営、いわゆる売り
上げ状況は、今資料として持ち合わせておりませんので、何らかの形で後刻、資料提供を
皆様方にさせていただくということで、それを取り寄せまして確認させていただきたいと
思います。今後とも一生懸命頑張っていきますので、どうぞ応援をお願いしたいと思います。

○梶川委員 簡単に質問、意見とか思いを述べたいと思います。

土産のこんなところも見ているという意味で申し上げたい。県庁へコンビニができた。
非常に活況を博しているという感じで見ているのですが、奈良の土産物コーナーがつ
くられていて、非常にいい企画だと思ったのですが、個人商品名で恐縮ですが、陀羅尼助
丸がないのです。私は生まれが奈良県と違うからそんなに陀羅尼助丸ということではない

のですが、奈良県で生まれ育った人は陀羅尼助丸に執着があると思うのですが、それがそのコーナーにない。以前は県庁の売店にはあったのですが、今はない。薬務課に聞いてみますと、薬品だから薬剤師や製造担当会社というのがないと薬を置けないということで、一般質問でそれを質問すると言ったら、してもらってもどうにもなりませんと言われました。でしたら、奈良県のコンビニに全部、陀羅尼助丸を入れるように特区申請したらどうかと言ったのですが、これも無理ということだったのです。いろいろな研究をしてもらって、置けるのであれば置いてほしいし、どうしても無理なら法律ですから仕方ないということで、意見として述べておきます。

先ほどトイレについて除委員がおっしゃいました。この夏休みに和歌山城に行きましたが、きれいなトイレがあちこちに結構あるのです。これを今度の一般質問にしようと思って担当者の方に相談したら、奈良県は全部できているということです。できているとは、洋式トイレにしているという意味でできているとおっしゃったのかどうかわかりませんが、場所、位置、数も含めてトイレ、食うのは辛抱できるけど、出るのは辛抱できない場合がありますから、トイレの数をふやすようにしてほしいという意味で一度見直してほしい。奈良公園は国際的な公園ですし、奈良県一の公園ですから、ローカルな竜田公園もあることも忘れないでほしいと、トイレの件を申し上げておきます。

これも公園の担当か道路の担当かわかりませんが、最近、斑鳩町に懸案のいかるがバイパスは、トータルで4.7キロメートルのところを1.1キロメートルぐらい完成したのでしょうか。東から竜田川まで完成しました。この道路は、先住民の環境を守れという意見で抵抗がありまして、進捗が遅くなったのですが、十分な話し合いもできないままですが、とりあえず進捗していった。平群町の椿井というところがあるのですが、そこから国道25号を竜田大橋まで、国道168号が走っています。そこからさらに町道を通ってバイパスまで行って南に下っていくのですが、特に国道168号の走っている部分は歩道もありません。皆公園の中を通るわけですが、最近の歩道の見直しの中で県もそのようにお考えのようですが、ここに歩道をつけるという計画は、いつごろの計画として考えておられるのか。わかれば教えてほしいと思います。以上です。

○堀内道路環境課長 国道168号は、ご指摘のとおり、両サイドが山であったり川であったり公園であったりという特殊な狭い区間を走っておりますので、将来的な計画とか、歩道整備とか、まだそこまでは至っておりませんが、以前におっしゃっていただきました自転車道も含めて、道路敷きの中で、例えばのり面を利用するとか、水路を改善してふ

たをかけて路肩の幅員をふやして歩行空間を整備するとか、自転車での走行空間を整備するとか、そういった抜本体制はなかなか時間がかかかりますので、今すぐできるその側溝対策については、地元と調整しながらできるところから進めているところでございます。以上です。

○森川委員 外国人観光客交流館の機能について、今後第1期、第2期と工事があると思うのですが、報告1のイメージ図、また、各フロアの機能案で、教えていただきたい部分があります。客室にお風呂を今後設置される検討があるのか。もう1点は、イメージ図を見る限りシャワー室はあるけれども、大きなお風呂がどのように設置されていくのか、計画を教えていただきたいと思います。見る限りでは、各部屋に大まかにシャワー室と書いてあるので、普通のホテル形式の個室にお風呂がついているのか、客室だけで、反対に大きなお風呂をこの会館の中に設置されるのか。そのことで大きな利用度の違いが出てくると思うので、補足でお聞きしたいと思います。

○吉田観光プロモーション課長 外国人観光客交流館のお風呂の件でございます。報告1の外国人観光客交流館の整備についての資料の2ページに、各フロアの機能のイメージ図を上げさせていただいております。旧猿沢荘は、このうちの地階のシャワー室と記載されているところがもともとは浴室、お風呂でございました。今回の整備によりまして、ここを、シャワー室に改修しようと考えております。2階、3階、4階は客室でございます。2階は洋室8室となっておりますけれども、これはもともこの洋室の中にお風呂といいましょうかシャワー室がございますので、そこはそのまま使わせていただこうと思っております。3階、4階の和室の部分につきましては、浴室等はもともとございませんので、地階のお風呂を今回撤去してシャワー室にかえるものですから、同じように各フロアにシャワー室を整備するというものでございます。したがって、大浴場という形での整備は予定しておりません。洋室の8室以外は部屋から外に出て、シャワー室をご利用いただくという形になっております。以上でございます。

○森川委員 この外国人観光客交流館は、今後ホテルとして使っていくのか、発想的に用途は違うのかとは思いますが、研修にしても、外国から来られる方に日本でお風呂に入ってもらおうというのものもあるし、今後ここを研修室と、ホテルの機能を持たせるのであれば、基本的に形を変えていかないといけないとは思いますが、実際にここはホテルではなく研修室として使っていくということで理解させてもらっているのでしょうか。

○吉田観光プロモーション課長 機能に関する説明でございます。外国人観光客交流館の

整備についての資料の4ページをごらんになっていただきますと、外国人観光客交流館は、まず、研修所ではございません。外国人の方が来られて、ここで観光案内ができる機能をまず設けようと思っております。もう一つは、外国人同士、あるいは外国人と日本の方等々の、情報交換の場であります交流施設を設けようと思っております。この施設には、宿泊機能を設ける予定はしているのですけれども、食事等の提供は予定しておりません。当然、外を使っていただくということもございますので、物販ができるような機能もここに設けようと思っております。それ以外に、日本の文化、あるいは奈良のいろいろな伝統行事、文化等も体験できるようなスペースも設けて、外国人の方のおもてなしができるような施設、それとあわせて、宿泊できる機能を設けようと考えております。以上でございます。

○森川委員 イメージ的に、研修施設だったら何となくわかるのです。でも、イメージはホテルでしょう。仮に外国人専用のホテルとして考えるのであれば、もう少し工夫が要ると思います。各部屋にお風呂、シャワーでもよろしいが、取りつけるべきだと思うし、大浴場はなくしてシャワー室にすることは、10人以上入ってシャワーを浴びるという基本的な形で使われるのか。研修施設ではないのだから、反対に泊まってもらえるようにしなければいけないというのが、一つあると思う。

物販もそうだと思います。県庁の入り口に物販スペースと軽い食事ができるスペースを併用しているわけです。ここでもやはりこういう形で、ホテルとしての機能であれば、軽食もできるということも考えていかないといけない。お金を使って改修するのだから、利便性のいいように、また、泊まられる方がもっとゆっくりできるということも踏まえて、取り入れていくような形にしないと。洋室8室は、部屋のシャワー室で、上の和室は、下のシャワー室で。想像できないぐらいの案で上がってきているけれども、観光として取り組んでいかれるのであれば、観光スペース、泊まられる方のおもてなしができるイメージを考えられるのだったら、変えていただいたほうがよい。このシャワー室の使い方は、今あるところを簡単に整備したらこうやってできますでいいのかもわからない、お金もかからないし。そうではなく、今ある風呂も、全部潰してシャワー室にするわけでしょう。

だから、反対に、このイメージ図で、研修室としてつくるのであれば外国から来たお客さんが10人、20人ここで泊まっていたいて、ここで全体的に集団行動をとってもらおうというものだったらこういうやり方でもいいと思うのですけれど。普通の一般のホテル

と変わらないようなやり方の知恵を絞っていただきたい。こんな形でほんとうに自分が泊まりたいと思うように、日本人でも外国の人でも同じだと思います。できればそういうところをもう少し踏まえて、変えられるところは変えていただきたいと思います。今すぐにごうとうと返答をもらうわけにはいかないと思うので、イメージとして変えてもらえるものであれば今後考えていただきたいと思います。要望として話をさせていただきます。終わります。

○岩田委員長 もうよろしいですか。

それでは、ほかになければ、これをもちまして質疑を終わらせていただきます。

理事者の方はご退席お願いいたします。

(理事者退席)

それでは、本日の委員会を受けまして委員間討議を行いたいと思います。

なお、委員間討議につきましては、当委員会の所管事項であります歴史とにぎわい創出による観光振興に関することについて、今後、特に議論を深めるべき課題や論点について言っていただきたいと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。

まず初めに、8月に行いました県内調査の概要と参考資料をお手元に配付させていただいております。

それでは、県内調査の概要をお願いいたします。県内調査は8月6日に実施させていただきました。調査事項といたしまして、春日大社、記紀・万葉ゆかりの古墳群について調査を行いました。調査の概要としましては、春日大社では、第60次式年造替にあわせて、観光客誘致の観点からさまざまな儀式が行われ、本殿特別拝観などが行われています。また、天理市には記紀・万葉ゆかりの古墳群が数多く存在し、記紀・万葉に的を絞った切り口で積極的に観光情報の発信に取り組まれています。

以上のことから、にぎわい交流の拠点として、また、記紀・万葉ゆかりの地として、観光客誘致に向けて積極的に情報の発信に取り組まれているところです。

以上、県内調査の概要といたします。また、参考資料は、当委員会の調査報告に関して今後の取りまとめの方向についてまとめたものとなっておりますので、参考にさせていただければと思います。

それでは、ただいまの報告を含めまして、今後、当委員会で取り組むべき方向、また、特に議論を深めるべき課題や論点等につきましてご意見をいただきたいと思います。

それでは、ご意見がありましたらお願いいたします。

○梶川委員 粒谷委員が言ったように、ちょっとしたエキスで人に見てもらったら喜ばれるようなことは宣伝をして、見てもらうようにすればよい。談山神社の塔が倒れて修理したときに興味のある人から見せてほしいと言われて、教育委員会に交渉して見せてもらったことがある。関心のある人には、何かそういう宣伝をして人を誘致するようなことをしたらいいと思います。当面は春日大社の式年造替がある。

○岩田委員長 新聞に載っていた薬師寺東塔の話、そういうものをもっと情報を集めて発信せよということです。

○粒谷委員 薬師寺は、大講堂を建てかえたときのセレモニーに、3,000人ぐらいの信者というか写経された方をご案内されました。2日か3日か、1回に3,000人ぐらい集めてされるのです。この前の、多分真柱の修理のときも、相当な数を集めてイベントとして取り組んでいると思うのです。これもあくまでも寺のお客様というか、信者に対してですが、薬師寺にゆかりのない方も、非常に興味のある方は多いと思う。特に薬師寺は非常に商売の上手なところで、PRもうまくされる。ただ、今のところは県が全く関与していなかったのが、ちょっと、んと思ったのだけれど。梶川委員のおっしゃるように、談山神社のあの改修も含めて、やはり…。

○梶川委員 談山神社ではなく、室生寺。

○粒谷委員 室生寺の台風のとき修理した塔。これから薬師寺東塔は建てるのに10年近くかかると思うのです。これからチャンスはいくらでもあるから、また一度この委員会でも見にいってもいい。

○岩田委員長 きこのうの新聞で薬師寺が載っていて、柱が30メートルあり、やはり接ぎ木をしている。そのときに思い出したのが、一番初め、梶川委員とシリアのパルミラ遺跡へ行ったときのことで、それからずっと気つけて見ているけれど、あの石柱はみんな接いでるわけです。一本物ではなく、穴をあけて銅を流し込んである。それは盗掘ではないけれど、銅をみんな盗っているというのはあるのだけれど。新聞でも柱は30メートルだが、下の部分がヒノキですと書いてあり、大変なことをしている、こんなことをしているのを見たかったと、過去に行ったところの石との比較をしたりしていた。きょうも、外で昼食をとった帰りに、ぶらぶらと坂を上がって興福寺から帰ってきたのだけれど、五重の塔の東側の、東の金堂の看板を見ると、715年に建てたとある。ところが、建てかえでも、1415年と書いてあった。来年で丸600年になると思いながら、自分が建設業で育ってきたので、まず、石の基礎のところを見て、正味600年たっている、すごいと思

いながら、歩いて帰ってきた。今度も質問させてもらおうと思うけれども奈良県にはそういうものが相当ある。国宝は日本で一番多いから、何かそういうことをするならば、県が情報を収集して、それを発信する。それは大切なことだということをまた今度のこのまとめのところにぜひとも入れさせていただきたい。

○粒谷委員 薬師寺の場合はまだまだこれから。建てる過程もまた見られる。

○岩田委員長 この間、春日大社を歩いたけれど、私自身春日大社の中に行ったことがなかった。直江兼統の400年前の釣り灯籠があったので驚いたけれど、なぜあるのか、上杉の城は春日山に移ったから、その春日というつながりで直江が景勝の番頭だったから。私もあのようなものが好きだからあれっと思って見ていたけれど、行ってみたらすごい。

○除委員 観光客数がふえるのは、伊勢神宮や出雲大社の式年遷宮へ行ってみたいだから、奈良県としては春日大社の式年造替と薬師寺、これからもまだ大切なときだから、そういったことと関連して。

○岩田委員長 天理市に長岳寺があるけれど、そこに地獄絵がある。平城遷都1300年祭のとき、北川住職と終わって話しをしていたら、東京の女子学生が多かったと。この委員会だったと思うけれども、どういうところに広告、コマーシャルをしたかと質問したら、首都圏のJRの駅にしていますと。ところが、終わった後に事情を聞いたら、女子学生をよぶのは、東京のキャンパスの掲示板に張らせてもらおうと。終わった後の結果で、こういうところにも広告しないといけないと言ったことを今思い出した。ついJRの駅と言ってしまっけれども。そうではなく、東京には大学が寄っているわけだから。そういうことも北川住職に言ったら、東京の女子学生が多かったという答えが返っているから。そういうことを今度のまとめのところへ入れさせてもらえたらと。

ほかに。結構ですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

それでは、そのようにさせていただいて、これをもちまして委員間討議を終わります。

それでは、本日の委員会を閉じさせていただきます。ありがとうございました。